

前回執筆者
渡邊 未来さん



香芝はいい所、第二の故郷かな！ 家島 勝彦さん

私は大阪生まれですが、父の仕事の関係で、出身地の淡路島南端の灘仁頃という漁業を主とした小さな漁村で小学6年生までを過ごし、その後は母の生まれの大阪に転居しました。

その後、香芝市（当時は香芝町）に移住し、40年以上（穴虫で20年弱、逢坂で20数年）になりました。香芝を選んだのは、電車に乗り、トンネルを抜けて閑屋に入った途端、静かな地域だなと感じて、2、3回程程度見聞きし、転居を決めました。夜になると空が綺麗で、風景は違いますが、小さいころ過ぎた淡路島を思い出しました。

また、妻も京都の園部で育ったせいか、香芝はいい所だなと思って生活しています。今は、若いころ、実業団でバレーボールの監督をしていたこともあり、地元のマさんバレーのかたから小学生の指導を依頼され、最初はためらっていましたが、今では20年以上続いています。実業団時代は全国大会への出場経験もあり、子どもた

ちには「勝敗も大事だけど、元気に頑張ろう！」をモットーに子どもたちの目線に合わせた指導を行っています。

また、市の温泉には週3回程度通っており、気軽に話す相手もたくさんできました。温泉のロビーの額縁に飾られている「和顔愛語」という言葉に倣い、誰とでも仲良く接したいと思っています。きょうだいや子どもたちも香芝やその周辺に住んでおり、私も第二の故郷と思って、これからも元気に過ごしていきたいと思っています。



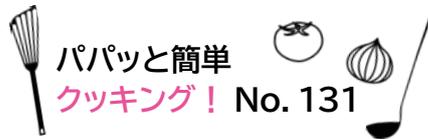
香芝検定の答え

③下田西と藤山

昭和50年7月1日に新町名になりました。①の下田東と閑屋北は昭和51年8月1日に、②の磯壁と畑は昭和52年8月1日に、④の逢坂と尼寺は平成3年10月1日にそれぞれ丁目のついた新町名になりました。

☆編集後記☆

先日、初めて千葉県にある「夢の国」に行くことができました。人生で一度も行ったことがない、と言うとたいい驚かれるのですが、高所恐怖症なこともあり、アトラクションを楽しめないと勝手に思い込んでいました。実際行ってみるとどうでしょう!? 会場は物語の世界観どおりに作りこまれているし、スタッフのかたのホスピタリティも高い…。結局ドはまりして1日中楽しみ尽くしていました。しかし楽しい夢は永遠には続かないものです。「明日から仕事か…。」帰路につき、徐々に夢から現実へ引き戻されながら、また行こう、と心に誓うのでした。 <董>



パパッと簡単
クッキング! No. 131

ふんわりとした仕上がりで
いくつでも食べたくなる!

おからナゲット

1人分
103kcal・塩分0.5g

【材料(作りやすい分量)】

- おから…200g
- 木綿豆腐…100g
- A 片栗粉…大さじ3
- マヨネーズ…大さじ2
- 鶏がらスープの素…小さじ1/2
- おろしにんにく…小さじ1
- 塩…小さじ1/3
- サラダ油…小さじ2

【作り方】

- ①木綿豆腐はキッチンペーパーに包み、軽く水分を取る。
- ②ボウルなどに、おから、木綿豆腐、Aを混ぜ合わせ、ひと口大の楕円形に成形する。
- ③フライパンにサラダ油を入れ、温めて②を中火で焼く。焼き色がついたら裏返して弱火にし、両面がこんがりときつね色になったら出来上がり♪

* お好みのソースを添えて盛り付けよう!

* レシピ協力：食のサポーターかしば

食のサポーターかしばは、より良い食生活を自ら実践し、住民に広めていくために活動しているボランティア団体です。

